

## 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成26年11月18日(火) 4校時  
場 所 一関市立黄海小学校  
児童数 男子6名 女子9名 計15名  
指導者 大竹 牧子

- 1 単元名 グラフや表を引用して、暮らしについて意見文を書こう。  
主要教材 「天気を予想する」、「グラフや表を引用して書こう」  
補助教材 「毎日小学生新聞」、「社会科副読本 わたしたちの一関」、「5年社会科資料集」、  
「イルカのねむりかた」、「教師自作意見文のモデル」 他

### 2 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を通して付けたい力は、「目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかきながら読むこと。」(C(1)ウ)と、「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。」(B(1)エ)である。そこで、単元を貫く言語活動として、「グラフや表などを引用することのよさを理解し、暮らしについての意見文を書くこと。」(B(2)イ)を位置付けた。これは、自分の意見を相手に分かりやすく伝えるために、自分が主張したいことに合う表やグラフなどを用いて意見文を書く活動であり、付けたい力を付けるのにふさわしい活動だと言える。

### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまで、4年「アップとルーズで伝える」の学習で写真と文章を関連させながら筆者の説明の工夫を学んだ。また、仕事紹介文を写真を効果的に使いながら書く活動を行ってきた。5年1学期の「新聞を読もう」では、伝えたい内容によって見出しの文言や写真の取り上げ方が違うことを学び、「見立てる」「生き物は円柱形」では、要旨をとらえながら筆者の意図について自分の考えをもつ言語活動を行ってきた。

これらの学習を通して、図表やグラフ・写真を使うことは分かりやすいと感じてはいる。しかし、自分の意見に説得力をもたせるために活用することは行っていない。また、筆者の意図に対して自分の考えをもって発表する活動に抵抗を感じている児童もいる。

#### (2) 単元構成について

本単元で育成したい言語能力は、「自分の意見を読み手に伝えるための書き手の表現の工夫について、自分の考えを明確にしながらかきながら読む能力」と、「自分の考えが伝わるように、効果的に資料を用いて意見文を書く能力」である。

その能力を育てるために、読むこと「天気を予想する」と書くこと「グラフや表を用いて意見文を書こう」を合わせた複合単元として単元を構成する。複合単元にすることで言語活動である「グラフや表などの資料を用いて意見文を書く」ことを常に意識しながら、「表現の工夫を読む」という目的を明確にして教材文「天気を予想する」を読むことができる考えた。

#### (3) 指導について

本単元では、児童が目的を明確にして教材文を読み、資料を活用して説得力のある意見文を書くことができるよう、次の点に留意して指導を進めていきたい。

第1次では、社会科で学習した食料生産をもとにした教師自作の「くらしやすさ」についての意見文のモデルを提示し、単元のゴールの見通しをもたせる。また、グループで今のくらしについて話し合わせ、学習への動機付けや意欲付けを図る。さらに、くらしについての自分の意見をもたせたいうえで、それに必要な資料を探し始めることを確認する。

第2次では、説得力のある意見文を書くために、表現の工夫を読むという目的意識を明確にもたせる。筆者の表現の工夫としておさえたいのは、①尾括型の文章構成②問いを重ねる論の進め方③図表やグラフなどの活用の3つである。文章構成や論の進め方については、既習の説明文と比べて読むことで、本教材の文章構成や論の進め方の意図や効果について考えさせたい。また、図表やグラフなどの活用については、身近な新聞や教科書・資料集等を補助教材としながら意図や効果について考えさせていく。さらに、第3次で書く意見文に表現の工夫を取り入れることを意識させるために、学んだことをモデル文で確認しながら進めていく。

第3次では、学んだことを生かし、効果的に図・表・グラフ・写真を引用しながら、説得力のある意見文を書かせたい。

#### 4 単元の目標

<p>◎表現の工夫に興味をもって読もうとしたり、資料を活用して説得力のある意見文を書こうとしたりすることができる。【関・意・態】</p> <p>◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように意見文を書くことができる。【B(1)エ】</p> <p>◎文章構成や論の進め方、図表やグラフなどの意図や効果について自分の考えを明確にしながら読むことができる。【C(1)ウ】</p> <p>◎文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。【伝(1)イ(キ)】</p>
--

#### 5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
○表現の工夫に興味をもって読もうとしたり、資料を活用して説得力のある意見文を書こうとしたりしている。	○自分の考えの根拠となる事実を表す図表やグラフなどを用いて、自分の意見が説得力をもって伝わるように書いている。	○文章構成や論の進め方、図表やグラフなどを用いた意図や効果について、自分の考えを明確にしながら読んでいる。	○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

#### 6 単元計画（全10時間扱い）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価
第1次 (2)	1 2	<p>1 学習内容をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見文のモデルを読み、意見文について気付いたことを話し合う。（構成・引用）</li> <li>「くらしやすさ」「くらしにくさ」について、グループで話し合い、自分の考えや根拠を簡単にまとめる。</li> <li>「天気を予想する」を読み、気付いたことを交流し、学習計画を立てる。</li> <li>新出漢字等を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達に興味関心をもたせるために、社会科で学習した内容を基にしたモデル文を提示する。</li> <li>既習教材「イルカのねむりかた」やモデル文を振り返り、「天気を予想する」との構成の違いや問いの数等に気付かせる。</li> </ul>	<p>【関】表現の工夫を読むことに興味をもち、学習計画作りに意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>(ワークシート・発表)</p>

第 2 次 (4)	3	2 「天気を予想する」を読み、 文章の構成について考える。 (工夫①) ・文章構成の意図や効果について 自分の考えをもつ。 ・自分の意見文に生かすことを考 える。	・既習教材「イルカのねむりか た」を基に尾括型の構成につ いて確認する。 ・モデル文と比べながら尾括型 と双括型のちがいやそれぞれ のよさについて考えさせる。	【読】【言】尾括型の 構成の意図や効果に ついて自分の考えを 明確にしながらか 読んでいる。 (ワークシート)	
	4	3 「天気を予想する」を読み、 論の進め方について考える。 (工夫②) ・論の進め方の意図や効果につ いて自分の考えをもつ。 ・自分の意見文に生かすことを考 える。	・既習教材「イルカのねむり」 との比較により、3つの問い と答えで説明されていること のよさと筆者の意図につ いて考えさせる。	【読】3つの問いを重 ねる論の進め方の意 図や効果について自 分の考えを明確にし ながらか読んでいる。 (ノート・発表)	
	本 時	5	4 「天気を予想する」を読み、 図表やグラフ・写真などの資料 について考える。(工夫③) ・図表やグラフ・写真を用いた意 図や効果について自分の考えを もつ。 ・自分の意見文に生かすことを考 える。	・図表やグラフ・写真を分類さ せたり、対応した文章を探さ せたりして、資料を用いるこ との意図や効果につ いて考えさせる。 ・モデル文に使用する写真につ いて考えさせることで、効果 的な資料の活用につ いて確認させる。	【読】図表やグラフ・ 写真と文章を対応さ せながら、資料を用 いることの意図や効 果について自分の考 えを明確にしなが らか読んでいる。 (ワークシート・発表)
		6	5 意見文の構成要素と図表やグ ラフ・写真を用いることの効果 についてまとめる。 ・意見文の構成要素や効果につ いて話し合う。 ・新聞などを読み、図表やグラフ 写真の効果について話し合う。	・モデル文をもとに意見文の構 成要素について確認させる。 ・新聞や社会科資料集を提示す ることで、身近なものにも資 料を効果的に活用しているも のがあることに気付かせる。	【読】資料を用いるこ との意図や効果につ いて自分の考えを明 確にしながらか、新 聞などをか読んでいる。(ノ ート)
第 3 次 (4)	7	6 自分の意見文に必要な資料を 確認する。 ・自分の考えを整理し、必要な資 料を確かめる。	・例文や教科書を参考に、自分 の意見を整理させる。 ・2次で学習したことを想起さ せ、自分の考えに必要な資料 について考えさせる。	【書】自分の考えを明 確にしたり、必要な資 料を整理したりてい る。 (ワークシート)	
	8 ・ 9	7 自分の意見文に必要な資料を 引用しながら、意見文を書く。 ・序論、本論、結論に分けなが ら意見文を書く。	・自分の考えに説得力をもたせ る工夫について確認しながら 意見文をかさせる。	【書】資料を効果的に 使いながら、意見文 をかしている。 (ワークシート)	
	1 0	8 意見交流会を行う。 ・意見文をお互いに読み合い、友 達の考えや書き方について交流 し合う。	・グループ内で意見文を読み合 い、文章構成や資料の効果的 な使い方を評価し合う。 ・説得力のある意見文を全体 の場で紹介する。	【関】優れたところを 見つけながら、友達 の意見文を進んで読 もうとしている。 (ノート、発表)	

7 本時の指導（5／10）

(1) 本時の目標

- ・筆者が図表やグラフ・写真を用いた意図や効果を考えることができる。

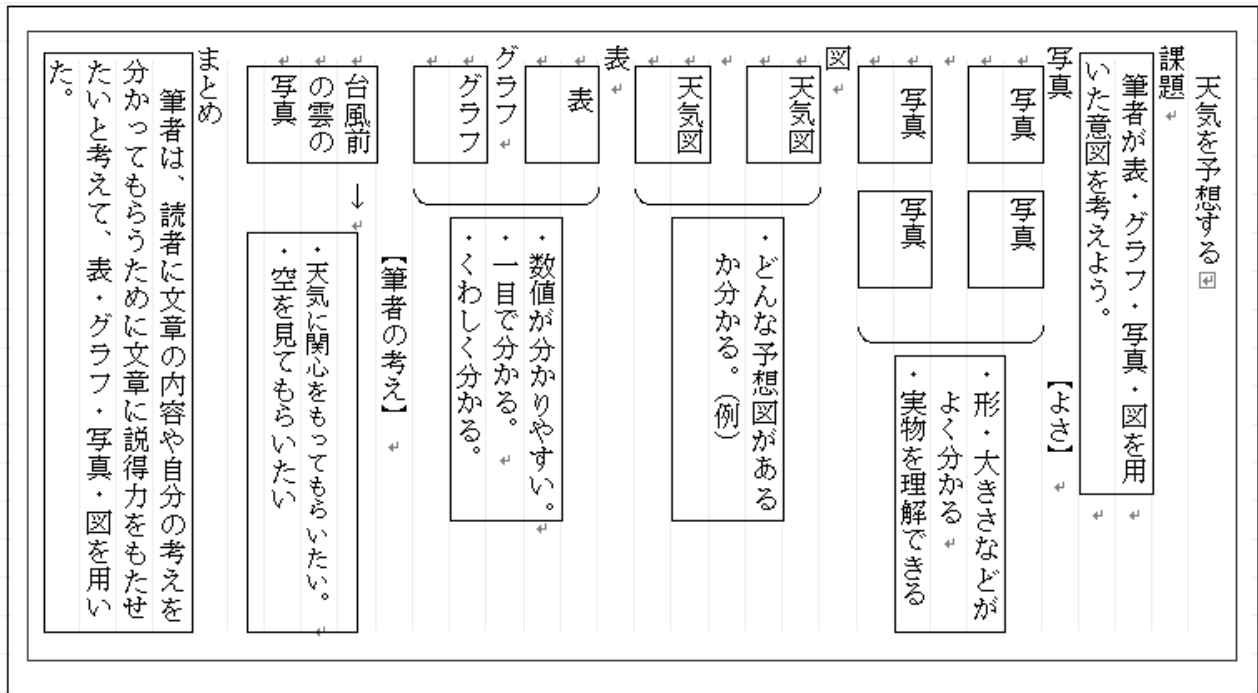
(2) 評価規準

B おおむね満足	C 支援を要する児童への手立て
図表やグラフ・写真と文章を対応させながら、資料を用いることの意図や効果について自分の考えを明確にしながら読んでいる。	表・写真・図・グラフと関わりのある文章と一緒に確認しながら、意図や効果について考えさせる。

(3) 展開

	学習活動	教師の支援と留意点（・）評価（◇）
つかむ 5分	<p>1 前時を想起する。 ・論の進め方の意図や効果を確認する。</p> <p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>説明の仕方の工夫③ 筆者が表・グラフ・写真・図を用いた意図を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で、児童がまとめたものを発表させる。</li> <li>・単元のゴールを確認し、本時の学習課題を解決する目的を明確にもたせる。</li> <li>・「資料の分類→よさ→意図」の順番で学習することを確認し、学習の見通しをもたせる。</li> </ul>
深める 25分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 資料を用いて説明することのよさについて考える。 ・資料を表・グラフ・写真・図の4種類に分類する。 ・それぞれのよさについて考え、話し合う</p> <p>(2) 資料を用いて説明した筆者の意図を考える。 ・雲の写真を用いた意図を考える。 ・資料を用いて説明した筆者の意図について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8つの資料を提示し、表・写真・図・グラフに分類させる。</li> <li>・資料と文を対応させながらよさについて考えさせるため、まず、資料がどの文と対応しているのかを考えさせる。</li> </ul> <p>◇資料の効果について、自分の考えをもつことができたか。（ワークシート・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の中で雲の写真だけ他の写真とちがう使われ方をしていることに気付かせる。</li> </ul>
まとめる 15分	<p>4 学習をまとめる。</p> <p>(1) 図表や写真を使うことの効果や筆者の意図についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>筆者は、読者に文章の内容や自分の考えを分かってもらうために文章に説得力をもたせたいと考えて、表・グラフ・写真・図を用いた。</p> </div> <p>(2) モデル文にどのような写真を用いたらよいか考える。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習を確認する。</p>	<p>◇筆者が資料を用いながら説明した意図について、自分の考えをもち、まとめることができたか。（ワークシート・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能なら、本時で学習したことを自分の意見文にどう生かすかまで書くよう指示する。</li> <li>・2つの写真を提示し、どちらの写真が適切か考えさせる。</li> <li>・本時の学習で、分かったことなどを記述させる。</li> </ul>

(4) 板書計画



【グラフや表を引用して書くこと】

日本国内から運ばれてくる品物の様子を  
表した日本地図

わたしは、日本の社会は、食生活が豊かでくらしやすいと思います。なぜなら、ふだん私たちが食料品を買う店には、様々な種類の食料品があり、その中から必要な物や安い物を選んで買うことができるからです。その食料品の中には季節を問わず、一年中買うことができる野菜や果物などもあります。

外国から運ばれてくる品物の様子を  
表した世界地図

上の図は日本国内や外国から運ばれてくる食料品を表したものです。国内では、北海道から九州の日本各地から食料品が岩手県へ運ばれていることがわかります。きゅうりやナス等が、ほぼ一年中買うことができます。それは、南の地域で作られた野菜が運ばれてくるからです。また、世界の国々からも日本に様々な食料品が輸入されていることがわかります。だから、わたしは一年中季節を問わず、様々な食料品を買うことができるのです。

国産と輸入農産物の  
おおよその値段を  
表した棒グラフ

次のグラフは、食料品の国産と外国産の値段の違いを表したものです。小麦や玉ねぎはそれほど値段の差は大きくありませんが、アスパラガスでは三〇〇円以上の差、牛肉においては千円以上の差があります。外国産の輸入農産物の方が安く買うことができます。

？

このように日本では、様々な食料品が国内や外国から運ばれ、季節を問わず一年中買うことができます。また、安く手に入れることもできます。このような工夫がされていることから、日本の社会は、食生活が豊かでくらしやすいといえます。

(参考)「わたしたちの「関市」」関市教育委員会 平成二十六年版

「朝日小学生新聞」